

書家・金澤翔子さん題字 日本酒「檜葉の風」で揮毫

福島民報ニュース（2018年03月03日 09時06分）



金澤さん（左から3人目）から書を受ける松本町長（右）と渡辺会長（左）

福島県檜葉町産米で仕込んだ日本酒「檜葉の風」のラベルなどに使用される題字を、書家の金澤翔子さんが揮毫（きごう）した。

「檜葉の風」は原発事故による風評を払拭（ふっしょく）し、地域の復興につなげようと特産品を目指して手掛けられており、檜葉町振興公社や地元のコンビニなどで今春から販売される予定。

松本幸英町長と檜葉の酒づくりプロジェクト委員会長の渡辺清町商工会長が2日までに、東京都内で金澤さんから書を受け取った。

檜葉の酒づくりプロジェクトは昨秋に始動。町内で栽培された酒造好適米「夢の香」を使い、姉妹都市の会津美里町の白井酒造店に日本酒造りを依頼した。

金澤さんは、本紙で連載中の大型企画「維新再考」の題字を手掛けている。